

公開講座

「国家と測量」

第3回 陸地測量部とその後身 国土地理院

我が国の近代測量は、明治2年の民部官庶務司戸籍地図掛の設置以来、150年を迎えようとしている。実測日本図を初めて作成した伊能忠敬の没後200年も間近である。我が国の測量・地図史の画期となるこのようなときに、国家が行ってきた測量・地図の歴史をたどり、国家にとって測量・地図が如何に重要であるかを考えてみたい。第3回は、戦後における陸地測量部から地理調査所への衣替えと測量法施行以来の地理調査部と国土地理院の変遷について演者の経験も含めお話したい。

■ 日時 平成29年7月7日(金) 16:00～17:30 16時より

※講演は、16:00～17:00

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(文京区白山1-33-18 白山NTビル5階)

■ 講師 星埜由尚氏

(元)国土交通省 国土地理院長

◆著書 伊能忠敬：日本をはじめて測った愚直の人(山川出版社)他

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員40名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください。](#)

申込み〆切日 6月30日(金)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: open_lc@jsurvey.jp

Tel: 03-5684-3357 (担当:小林 俊雄)